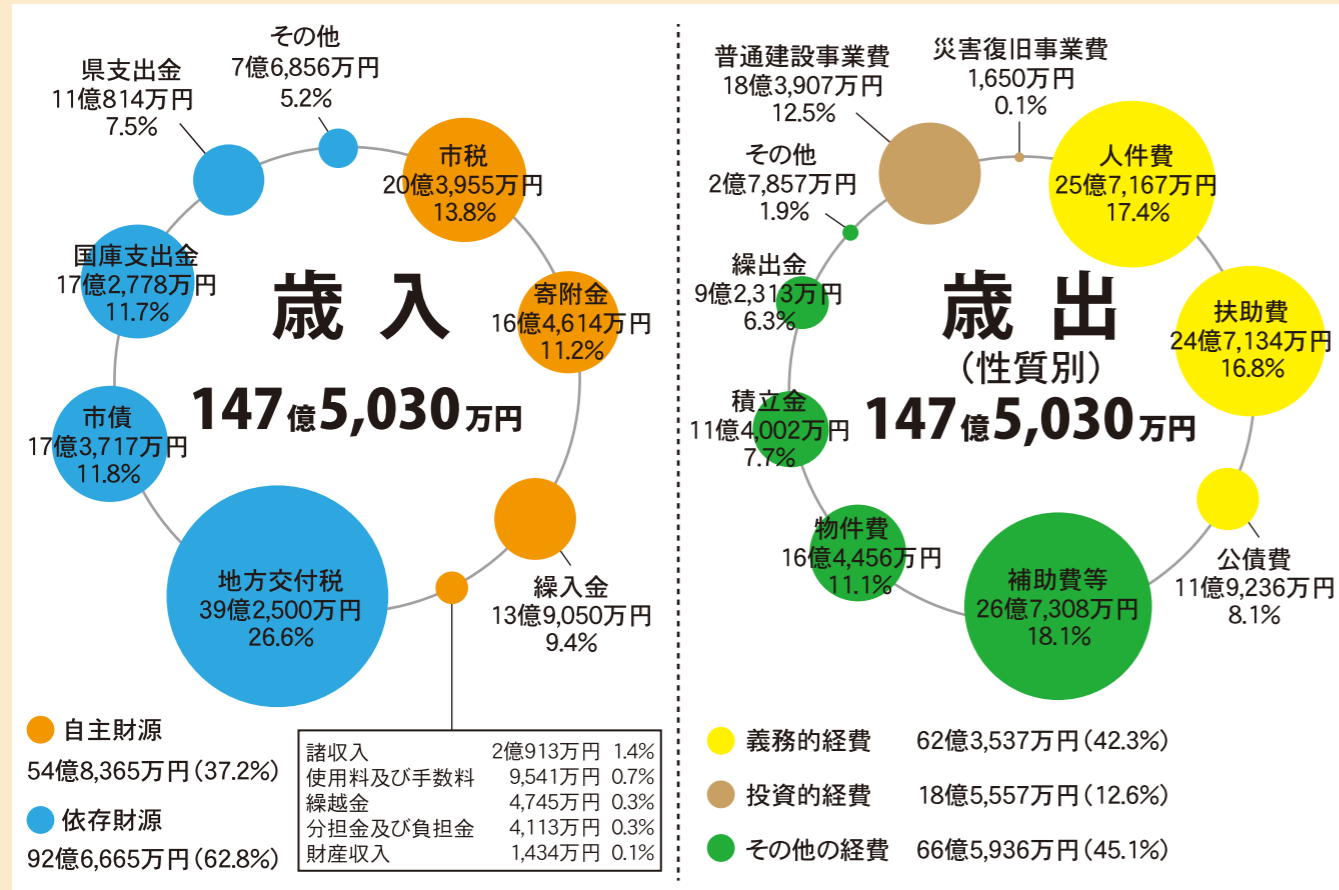


令和6年度一般会計当初予算は 147億5,030万円



歳出(目的別構成比)



令和6年度一般会計当初予算の概要

令和6年度の一般会計当初予算は、147億5,030万円で、過去最高額であった前年度と比較して10億230万円、率にして6.4%の減となりました。

歳入については、ふるさと応援寄附金の令和5年度の状況を勘案し、寄附金が4億円減少したことや、市債において、南薩地区衛生管理組合の新クリーンセンター施設整備事業に係る借入額が減少したことなどにより7億476万円の減となったことなどから、全体で10億230万円の減となりました。

歳出については、最終年度となる新クリーンセンター施設整備に係る負担金が前年度に比べ大幅に減少したこと、南薩地区衛生管理組合負担金が6億2,702万円減少したほか、ふるさと納税返礼事業および基金積立金合わせて4億7,617万円の減となったことなどにより、全体で10億230万円の減となりました。

令和6年度 各会計の当初予算額と増減率

会計名	令和6年度予算額	令和5年度予算額	増減率(%)
一般会計	147億5,030万円	157億5,260万円	△6.4
特別会計			
国民健康保険	33億4,562万円	33億3,715万円	0.3
後期高齢者医療	4億4,666万円	3億8,974万円	14.6
介護保険	27億7,613万円	29億9,356万円	△7.3
病院事業			
収益的収支			
収入	6億4,006万円	6億2,835万円	1.9
支出	8億1,095万円	7億7,294万円	4.9
資本的収支			
収入	0円	0円	
支出	5,381万円	3,859万円	39.4
水道事業			
収益的収支			
収入	4億2,905万円	4億3,105万円	△0.5
支出	4億1,410万円	4億1,476万円	△0.2
資本的収支			
収入	4,289万円	4,766万円	△10.0
支出	2億6,898万円	2億8,100万円	△4.3
下水道事業			
収益的収支			
収入	7億7,129万円	8億7,475万円	△11.8
支出	7億2,330万円	7億3,940万円	△2.2
資本的収支			
収入	4億8,420万円	7億7,126万円	△37.2
支出	6億6,862万円	10億5,133万円	△36.4



部活動地域移行推進事業 428万円
枕崎地域部活動推進協議会で地域移行についての取り組みを調査・審議することで、本市の中学校の生徒にとって地域での望ましい活動の在り方および中学校における教職員の働き方改革の実現を図ります。



学校教育施設等整備事業 1億5,716万円【ふるさと応援基金活用】
中学校のバリアフリー化等施設整備工事を実施するとともに、令和7年度の小学校のバリアフリー化に向けた整備設計業務を委託するほか、老朽化の進む施設・設備の改修等を年次的・計画的に実施し、児童生徒の安全・安心のための教育環境の整備に努めます。

豊かな人間性と文化を育むまちづくり

その他の事業

- 子供が抱える困難が多様化・複雑化する中で、誰一人取り残されない学びの保障に向けた取り組みとして、教育支援センターを設置し、不登校児童生徒の学びの場と保護者の教育相談の場を確保します。
- 子育て世帯の経済的負担を軽減するため、令和5年度に引き続き学校給食費の一部を助成する取り組みを実施します。
- 若者が抱える奨学金の返還による経済的負担軽減を図るとともに、人材の確保、労働者の定着および若者が暮らしやすいまちづくりに資することを目的に、本市に居住し、かつ、本市に就労した者に係る奨学金の返還に対して補助金を交付する「枕崎市奨学金返還支援補助金」を創設し、支援します。
- 市民会館において舞台機構備改修工事を実施します。
- 桜山地区公民館では2カ年にわたる改修を行うこととし、令和6年度は外壁・屋根改修工事を実施します。



JR指宿枕崎線利用促進事業 45万円
県鉄道整備促進協議会負担金 47万円
南薩地域全体の発展のための道路網の整備、JR指宿枕崎線の存続と利活用の促進、医療体制の確保、ごみ処理施設の運営などについても一体となった取り組みを進めます。

着実な歩みを進める連携と協働のまちづくり

その他の事業

- 「第三次枕崎市男女共同参画基本計画」に基づき、男女共同参画社会の実現に向けた施策を総合的に推進します。
- 多様化する住民ニーズや新たな行政課題等に対応するため、研修計画に基づいて引き続きハラスメント研修などの職員研修を実施し、職員の資質向上を図ります。
- 旧千歳寮については、令和7年度の解体に向けて、アスベスト調査を行います。
- 新庁舎建設について、引き続き庁舎整備基金の充実に努めながら、まずは庁内において、将来の新庁舎建設に係る基本構想や基本計画の策定に向けた具体的な検討に着手します。